



* 18名の旅立ちの日 令和2年度卒業式* 3月19日(金)

卒業式が行われました。今年度は、在校生代表として5年生も出席しました。コロナ禍のため歌と呼びかけの代わりに、一人一人が卒業証書を受け取った後、今後の抱負について述べました。立派な態度での発表でした。自分の目標に向かってしっかりと歩いていって欲しいです。

《校長式辞》

校庭の桜の蕾がほころび始め、今年は早い春の訪れとなりました。校木大いちょうも若芽を伸ばし、皆さんの卒業をお祝いしています。18名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業証書にした今の気持ちは、どのようなのでしょうか。大きなランドセルを背負って入学した日から、あっという間の6年間だったことでしょう。楽しい思い出がたくさんできましたね。しかし、時にはつらいこともあったことでしょう。いろいろな思い出を胸に、今日は皆さんの旅立ちの日です。

お子さんを大切に育みこの日を迎えることができました保護者の皆様おめでとうございます。また、長きにわたり、本校教育にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和2年4月8日にスタートした今年度、しかしながら、緊急事態のため学校休業が延長され実質始まったのは6月からでした。多くの行事も実施できず、我慢の年となりました。その中で、皆さんはいつも笑顔でできることを精一杯やり学校生活を楽しんでいました。そして、常に下級生のお手本となる最上級生でした。朝、昇降口に入ってくるときの元気なあいさつ、後ろからついてくる下級生も見習い、大きな声であいさつをしていました。私も朝からたくさんのエネルギーをもらいました。登下校時、横断歩道を渡った後のあいさつも立派でした。「いつでも、だれにでも元気なあいさつ」は、栃本小のいい伝統です。きっと、5年生を始め下級生が引き継いでいてくれることでしょう。また、どんな場面でも全力で取り組む姿、一生懸命な姿で下級生を導いてくれました。そして、何より皆さんは本当に優しい最上級生でした。4月の始め、下級生のあこがれる存在になってくださいとお願いしました。その通りになりました。ありがとう。

最後に、私の大好きな歌「いのちの歌」の歌詞の一部を読みます。今年は、歌えないので。

【略】

新型コロナウイルスによるこのような事態をだれが予測していたでしょうか。どんなに困難な状態になっても負けずに乗り越えていくだけの力を皆さんはもっています。自信をもって歩いてください。

そして、出会いは奇跡であり何にも代えがたい宝物です。

まず、生まれて初めて出会ったのは皆さんの家族です。これまで育んでくださり、これからも寄り添い支えてくださるご家族に感謝の気持ちを持ち続けて欲しいと思います。また、ここ栃本小学校で出会った私たち職員、多くの地域の人たち、そして一緒に学んだ友。いつまでも皆さんを応援しています。

今日、栃本小学校を巣立つ18名の皆さんが未来に向かって大きく羽ばたいていくことを期待して式辞といたします。

令和3年3月19日

佐野市立栃本小学校長

谷 恵子

1年生から4年生は、卒業式には出席せず教室で待っていました。卒業式後「明日へつなぐもの」の曲で6年生への感謝の気持ちを伝え、下級生全員でお見送りをしました。

